

伯耆文化研究会 7月例会

◆日時:令和 7年7月12日(土)

どなたでも
聴講していただけます

午後1時30分から3時30分まで

◆会場:米子市立図書館 2階研修室



宮内防空監視哨の哨員集合写真(昭和19年頃)(個人蔵)

①「日南町の戦争遺跡『宮内防空監視哨』について」

発表者:伊田 直起さん

(日南町教育委員会主幹学芸員兼社会教育主事)

日南町内には戦時中に敵航空機の防空監視を行った『宮内防空監視哨』という戦争遺跡があります。この監視哨について、日南町が保有する戦前の行政資料や現地踏査の結果等を検証するほか、元哨員の方からの聞き取り調査結果を交えた報告を行ないます。

②「建物疎開について —実施経緯と戦後の空地の取扱い—」

発表者:荒木 菜見子さん(米子工業高等専門学校講師(博士))

米子で実施された建物強制疎開について、実施経緯と具体的な実施箇所、そして戦後の空地の取扱い方を当時の都市計画などと照らして検証します。



現在の建物強制疎開跡(加茂川左岸)

例会はどなたでも聴講できますが、会員外の方は資料代200円が必要。

●伯耆文化研究会は会員を募集しています。詳しくは事務局まで●

